

手稲がもし百人の村だったら

わたしたちのふるさと「手稲」。手稲には、ふるさとを愛し、毎日を生き生きと活動する区民の皆さんがたくさんいます。

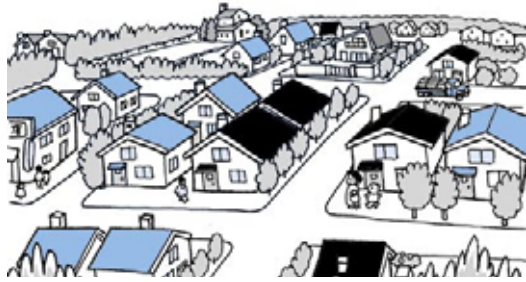
手稲区に住むクマオくんも、手稲が大好き。

いつも、手稲のまちのこと、住んでいる人のことに、興味津々です。

今日も、クマオくんは手稲のことに詳しい「ティーネ博士」のところまで勉強しています。ちょっと、二人の会話を聞いてみましょうか……。

「35年前、人口は18人でした」(注)

(注：旧手稲町と札幌市との合併直後と最新の国勢調査を比較)



クマオ えっ！35年で、5倍以上の人口になったの？

博士 そうじゃ。驚きじゃろう。札幌市との合併以後、新興住宅街が次々とできたことなどが理由じゃろうな。

平成17年人口 137,601人
昭和45年人口 24,763人

(旧手稲町と札幌市は昭和42年3月1日に合併。
昭和45年人口は現在の区域に組み替えた数値)
(出典 「昭和45年国勢調査」、「平成17年国勢調査」)

「7人は男の子、6人は女の子、7人は男性のお年寄り、10人は女性のお年寄りです」



クマオ 子どもやお年寄りの割合は変わってきているの？

博士 手稲区でも、日本全体の傾向と同じように、子どもの割合は減っていて、お年寄りの割合は増えてきているのじゃ。

人口 137,601人 (年齢「不詳」を含む)

	男性	女性
15歳未満	9,409人(6.8%)	8,854人(6.4%)
15～64歳	46,096人(33.5%)	48,845人(35.5%)
65歳以上	10,195人(7.4%)	14,133人(10.3%)

(出典 「平成17年国勢調査」)

クマオ 博士、手稲区には、僕のほかにたくさんの方が住んでいるけど、その人たちのことをもっとよく知りたいんだ。

博士 ほほう。例えばどんなことか？

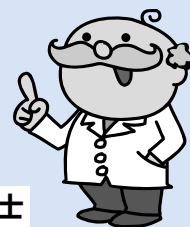
クマオ 例えば、僕みたいな子どもはどのくらいいるかとか、どんな暮らしをしているかとか……。

博士 なるほど。では、分かりやすいように、「手稲が百人の村」だったとして、いろいろ教えてあげようか。

クマオ 面白そうだね！ たくさん覚えて、手稲の博士になるぞ！



クマオくん



ティーネ博士